

ABC of 臨床 コミュニケーション

医療をスムーズにする“伝える/聞き取る”技術

contents

原書の序	Nicola Cooper, John Frain	3
訳者のことば	坂本 壮	5
Chapter 1 臨床でコミュニケーションが重要な理由		12
John Frain		
1 臨床コミュニケーション —歴史的観点—		12
2 コミュニケーションが患者の予後に及ぼす影響		17
3 トレーニングとフィードバック		18
4 医療従事者同士のコミュニケーション		19
5 書面での記録		19
6 思いやりのある環境		20
7 おわりに		21
Chapter 2 診察		23
Jonathan Silverman		
1 はじめに		23
2 根拠に基づくコミュニケーション (Evidence-based communication)		25
3 診察のモデル		26
4 実際の例		30
5 おわりに		32
6 謝辞		32
Chapter 3 コミュニケーションとパーソナリティタイプ		33
Gillian B. Clack		
1 はじめに		33
2 Jung 理論		34
3 医者好みは異なるのか?		38

4	タイプの違いがどのようにコミュニケーションに関係しているのか	39
5	謝辞	42

Chapter 4 共有意思決定 44

John Frain and Andy Wearn

1	はじめに	44
2	SDMとは何か?	46
3	SDMとEBM	48
4	リスクに関する情報の伝達	49
5	SDMを促すための戦略	49
6	SDMへのステップ	50
7	患者への情報提供	52
8	医療従事者のトレーニングと開発のニーズ	53

Chapter 5 臨床チームにおけるコミュニケーション 58

Alison Cracknell and Nicola Cooper

1	はじめに	58
2	人的要因 (human factors)	59
3	チームコミュニケーションの最適化	64
4	おわりに	68

Chapter 6 医療記録におけるコミュニケーション 70

Nigel D.C. Sturrock

1	総合医学評議会 (General Medical Council) の見解	71
2	診療の国民保険サービスコード	71
3	医療記録の保持と死亡率のデータ	74
4	医療記録の保持と診療報酬	75
5	優れた医療記録を保持するための簡単なヒント	75
6	紹介状と退院サマリー	76
7	医療記録管理の法的側面	76
8	多職種の記録	77
9	引継ぎツールとしての医療記録	78
10	電子患者記録	79
11	個人用記録 (PHR)	80
12	おわりに	80

Chapter 7 特殊な環境における発展的コミュニケーション 82

Nivedita Aswani, Vanessa Cox and Julia Surridge

1	小児の診察	82
2	困難な態度: 怒りっぽい暴力的な患者	84
3	言葉の壁	85
4	保護に関する懸念の調査	87
5	青少年, 危険行動, 同意および機密性	89
6	慢性疾患	91
7	それ以外の困難を抱えるグループ	94
8	おわりに	95

Chapter 8 コミュニケーションとメンタルヘルス (精神的健康) 96

Lee Smith

1	はじめに	96
2	信頼, 尊敬, ラポール	97
3	簡単な日常での効果的なコミュニケーション	98
4	背景を理解する	100
5	世界観, 文化, 分類	101
6	不安の特定と軽減	102
7	コミュニケーションにおける衝突を解決する	105
8	認知症およびせん妄におけるコミュニケーション	107
9	おわりに	108

Chapter 9 終末期のコミュニケーション 109

Adam Walczak, Phyllis Butow and Josephine Clayton

1	はじめに	109
2	終末期コミュニケーションのタイミング	110
3	終末期の話し合いの準備	112
4	患者と介護者に力を与える	112
5	異なる情報のニーズに対処する	113
6	緩和ケアについて話し合う	114
7	余命について話し合う	115
8	アドバンス・ケア・プランニング	115
9	Do not attempt CPR : DNAR	116
10	おわりに	118

Chapter10	臨床におけるコミュニケーションの指導	120
	John Frain and Magdy Abdalla	
1	はじめに.....	120
2	学生の参加.....	121
3	臨床コミュニケーションは教わることができる.....	122
4	カリキュラムの計画 - モデルの選択.....	123
5	セッションを定義する - 何を教える必要があるか?.....	126
6	指導のためのグループ.....	128
7	フィードバック.....	130
8	模擬患者の役割.....	130
9	手段と内容の融合.....	130
10	プレゼンテーション能力.....	133
11	経験的な専門家間学習におけるこのモデルの役割.....	134
12	おわりに.....	134
13	謝辞.....	134
	推薦書籍・論文・ウェブサイト	136
	索引	139